

# Cisco Meeting Server(CMS)2.0.3の新規インストールでデフォルトで無効になっているメッセージボードチャットのトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題：メッセージボードチャットがデフォルトで有効になっていない](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、CMSバージョン2.0.3以降でデフォルトで無効になっているメッセージボードチャットの問題について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Meeting Server(CMS) : バージョン2.0.3以降
- Cisco Meeting Apps(CMS 2.0.3以降で使用されるすべてのバージョン)

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Meeting Server(CMS) : バージョン2.0.3以降
- Cisco Meeting Apps(CMS 2.0.3以降で使用されるすべてのバージョン)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題：メッセージボードチャットがデフォルトで有効になっていない

CMSバージョン2.0.3以降、新しいインストールではメッセージボードチャットがデフォルトで有

効になっていません。これは、スペースメッセージボードのチャットに影響します。ポイントツーポイントコールでのチャットは影響を受けません。これは意図的な変更であり、CMS 2.0.3のリリースノートに、この新しい変更が明確に説明されています。

CMS 2.0.3 (またはそれ以降) をインストールし、メッセージボードチャットがサーバでデフォルトで有効になっていないことが判明した場合。

以前のバージョンのCMSから2.0.3 (またはそれ以降) にアップグレードし、以前にメッセージボードチャット機能を使用していた場合は、これは影響しません。このような場合、メッセージボードチャットは有効のままになります。

ただし、以前のバージョンから2.0.3 (またはそれ以降) にアップグレードしたが、メッセージボードチャット機能を使用しなかった場合、アップグレードによってメッセージボードチャットが無効になります。

## 解決方法

この機能については、CMS 2.0.3リリースノートのセクション2.7で説明されています。Cisco Meeting Appsのメッセージボードチャット機能を使用するには、アプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を使用して有効にします。設定は、アップグレード後も保持されます。

メッセージボードでチャットを有効にするには、APIを使用して、パラメータ `messageBoardEnabled` を `True` に設定した `callProfile` を作成します。 `callProfile id` をコピーし、このAPIパスに対してHTTP PUTを使用した後に、すべてのコールに使用されるデフォルトのグローバルプロファイルとして、この `callProfile` を設定します。 `/api/v1/system/profiles` にアクセスしてください。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)